

令和5年度（2023）東日本女子駅伝・全国都道府県対抗男女駅伝競走大会
神奈川県代表選手選考基準

● 選考方法

① 各大会とも、代表選手選考基準をもとに強化部会で選考する。

② 選考は、次の手順で行う。

・各大会の選手選考は、選考基準及び手順①～④の順番で選考する。

・選考基準を多数の選手が突破した場合は、シーズンを通じた競技会の成績・記録等を総合的に判断して選考する。

・選手選考基準を満たしている選手でも、選考時に故障や体調不良と判断した選手は、選考の対象から外す。

③ 記録は全て公認記録とする。（但し男女県高校駅伝大会の記録は除く）

・指定の期日までに、県外競技会で選考基準記録を突破した選手の顧問・監督は、必ず強化部長に記録証コピーを郵送すること。

● 選考基準及び手順

◆ 第38回東日本女子駅伝 2023年11月12日（日） 福島市

<一般>

・4月1日から10月1日までに、5000m16分40秒以内、10000m34分00秒以内の記録を持つ選手を選考の対象とする。（ふるさと選手がいる場合には、出場依頼をする）

<高校生>

① 4月1日から10月1日までに、3000m9分40秒以内の記録を持つ選手を選考の対象とする。

② ①の条件で規定の人数が選考できない場合は、4月1日から10月1日までの競技会の成績・記録等を総合的に判断して選考する。

<中学生>

・県長距離記録会9月30日（土）3000mの記録で、原則的に上位の選手から選考する。

◆ 第42回全国都道府県対抗女子駅伝 2024年1月14日（日） 京都市

<一般>

・4月1日から11月26日までに、5000m16分25秒以内、10000m33分30秒以内の記録を持つ選手を選考の対象とする。（ふるさと選手がいる場合には、出場依頼をする）

<高校生>

① 4月1日から10月29日までに、3000m9分30秒以内の記録を持つ選手を選考の対象とする。

※なお①の条件を6名以上が突破した場合には、県総体、関東高校、IH、県新人、県高校駅伝の結果を選考の対象として総合的に判断する。

- ② 県高校駅伝で、1区（6. 2195km）20分30秒以内、2区（3. 916km）13分10秒以内、5区（5. 25km）18分00秒以内の記録を持つ選手を選考の対象とする。
- ③ 最終選考会「11月25日（土）」3000mの記録で、上位の選手から選考する。
★ 但し、②までに既に基準を満たしている選手が、規定の人数を超えている場合には、最終選考会は実施しない。選考会実施の有無は、11月8日（水）までに神奈川陸協のホームページに掲載する。
- ④ 主要な駅伝大会の結果によって総合的に判断し、選考の対象となる場合がある。

<中学生>

- ・最終選考会「11月25日（土）」3000mの記録で、原則的に上位の選手から選考する。

◆ 第29回全国都道府県対抗男子駅伝 2024年1月21日（日）広島市

<一般>

- ① 4月1日から7月31日までに、5000m13分40秒以内、10000m28分30秒以内の記録を持つ選手を選考の対象とする。（ふるさと選手がいる場合には、出場依頼をする）
- ② 4月1日から12月31日までに、5000m13分50秒以内、10000m29分00秒以内の記録を持つ選手を選考の対象とする。（ふるさと選手がいる場合には、出場依頼をする）
- ③ ②までの条件を満たしていて、ハーフマラソン（世田谷、箱根駅伝予選、上尾、高島平等）の結果を選考の対象とし、総合的に判断する。

<高校生>

- ① 4月1日から10月29日までに、5000m14分20秒以内の記録を持つ選手を選考の対象とする。
※なお①の条件を5名以上が突破した場合には、県総体、関東高校、IH、県新人、県高校駅伝の結果を選考の対象として総合的に判断する。
- ② 高校駅伝で、1区（10. 39km）31分00秒以内、3区（7. 89km）23分50秒以内、4区（7. 89km）23分50秒以内の記録を持つ選手を選考の対象とする。
- ③ 最終選考会「11月25日（土）」5000mの記録で、上位の選手から選考する。
★ 但し、②までに既に基準を満たしている選手が、規定の人数を超えている場合には、最終選考会は実施しない。
選考会実施の有無は、11月8日（水）までに神奈川陸協のホームページに掲載する。
- ④ 主要の駅伝大会において総合的に判断し、選考の対象となる場合がある。

<中学生>

- ・最終選考会「11月25日（土）」3000mの記録で、原則的に上位の選手から選考する。